

**「浜名湖水辺整備基本計画」
水辺空間の整備に関する意見交換会
＜報告資料＞**

1 目的

- ・水辺空間の整備のあり方について地域と行政とで共通認識を持つとともに、地域のニーズを把握する

2 対象者

- ・浜名湖沿岸の各地区自治会連合会長
(浜松市西地域・浜松市北地域・湖西市)

3 主な意見交換の内容

- (1) 水辺空間の整備に関する基本理念
- (2) 水辺空間の整備にあたり、利用・環境等の観点から配慮すべき事項
- (3) 浜名湖の魅力向上につながる水辺空間の整備に係る地域の意見の抽出

意見交換会の開催概要

- ・ 令和6年9月に3回に分けて開催
- ・ 湖岸堤の整備イメージ図、かわまちづくり支援制度の事例等を提示して意見交換を行った

		浜松西地域	浜松市北地域	湖西市地域
開催日		令和6年9月5日(木)	令和6年9月25日(水)	令和6年9月27日(金)
会 場		浜松市西行政センター	浜松市北行政センター	湖西市コミュニティー 防災センター
出席者	地 区 自治会 連合会	会長6名 入野・篠原・庄内・ 伊佐見・舞阪・雄踏	会長4名 新都田・都田・引佐・細江	会長7名 鷺津東・鷺津西・新所・ 入出・知波田・ 新居中部・新居南部
	県	県河川企画課 県浜松土木事務所		
	市	浜松市河川課		湖西市土木課

➤ 浜名湖の水辺空間の現状及び課題を踏まえ、今後の水辺空間の整備にあたる基本理念を以下に掲げるものとする。

基本理念 1

■ 安全で、安心でき、豊かで活力ある美しい水辺空間づくり

古くから人々の生活が営まれてきた浜名湖では、今切口が決壊したことによる高潮や津波による水害が繰り返し発生しており、東海・東南海・南海地震による津波被害も想定されている。一方で、浜名湖は開放感のある水域であり、浜名湖周辺の歴史的・文学的・美術的背景を持つ景観を集めた「遠江八景」が編纂されるなど、古くから景勝地として親しまれてきた。また、複雑な地形と平均水深が浅いこと、栄養分が豊富なことから、多種多様な生物が生息している。

このため、今後とも高潮・津波に対して地域住民等の安全確保を最優先した対策を進めるとともに、現在の良好な環境、景観の保全に努め、「安全で、安心でき、豊かで活力ある美しい水辺空間づくり」を目指す。

基本理念 2

■ 暮らしと水辺のつながりを大切にした水辺空間づくり

浜名湖の水辺は、古くから人々の生活の場であったが、近年、漁業だけではなく、海洋性リクリエーション志向が高まり、浜名湖を中心に外海や河川と行き交うことで、多種多様な利用がされていることから、今日でも水辺は自然や文化を学び、豊かな人間性を育む貴重な空間であり、今後も保全、創出する必要がある。

このため、「暮らしと水辺のつながりを大切にした水辺空間づくり」を目指す。

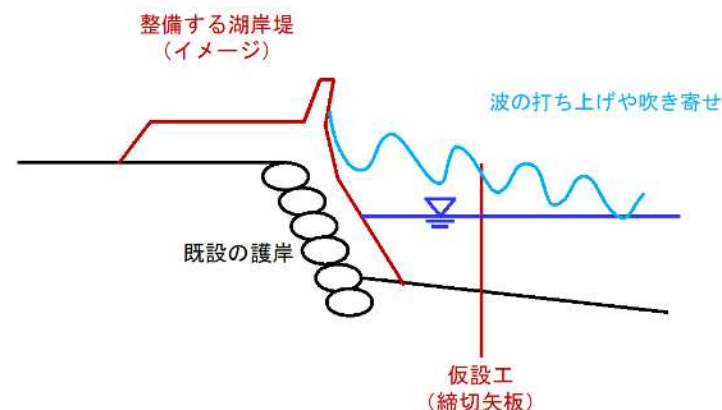
○一般的な堤防（護岸）整備にあたるイメージ図

(※) あくまでもイメージ図であり、必ずしもこの構造により湖岸堤を整備するわけではない。

パターン１ 直壁・急勾配護岸

- ・ 水域の消失範囲は比較的小さい
- ・ 護岸が急勾配であるため親水性は低い

(※) 工事の実施にあたる用地上の制約は中程度
親水性は低く、湖岸の利用が少ない箇所に
適している
必要に応じて階段やスロープの設置は可能



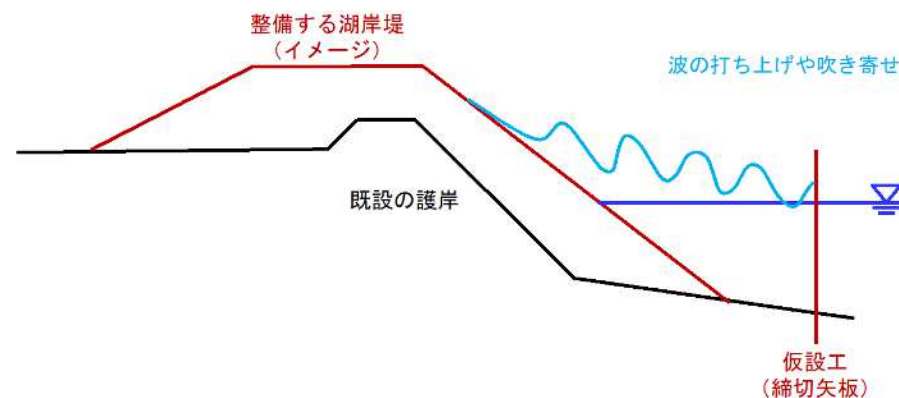
(参考) コスト情報
パターン3を1とした
場合のコスト比較

3～4程度

パターン２ 緩傾斜堤

- ・ 水域の消失範囲は大きくなる
(水深が大きい箇所には適さない)
- ・ 勾配が緩いため、親水性は高い

(※) 堤防の幅が大きく、また、工事の実施にあたり
大型の重機が必要となるなど、用地上の制約が
大きい
湖岸の利用が多く、水域と陸域とのつながりを
必要とする箇所に適している



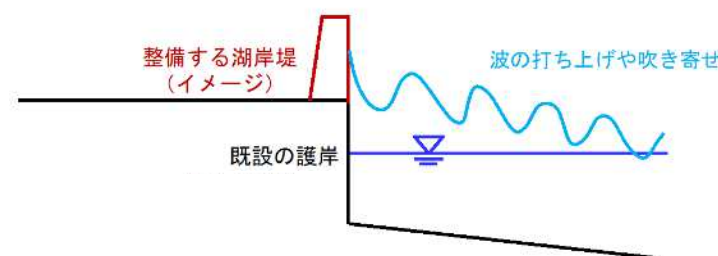
(参考) コスト情報
パターン3を1とした
場合のコスト比較

7程度

(※) コスト大のため、
工事の進捗に影響
が大きい

パターン３ パラペット

- ・ 嵩上高が1 m程度までの箇所に適用例が多い
- ・ 構造物自体が小さく、周辺に与える影響は
パターン1, 2と比べて小さい



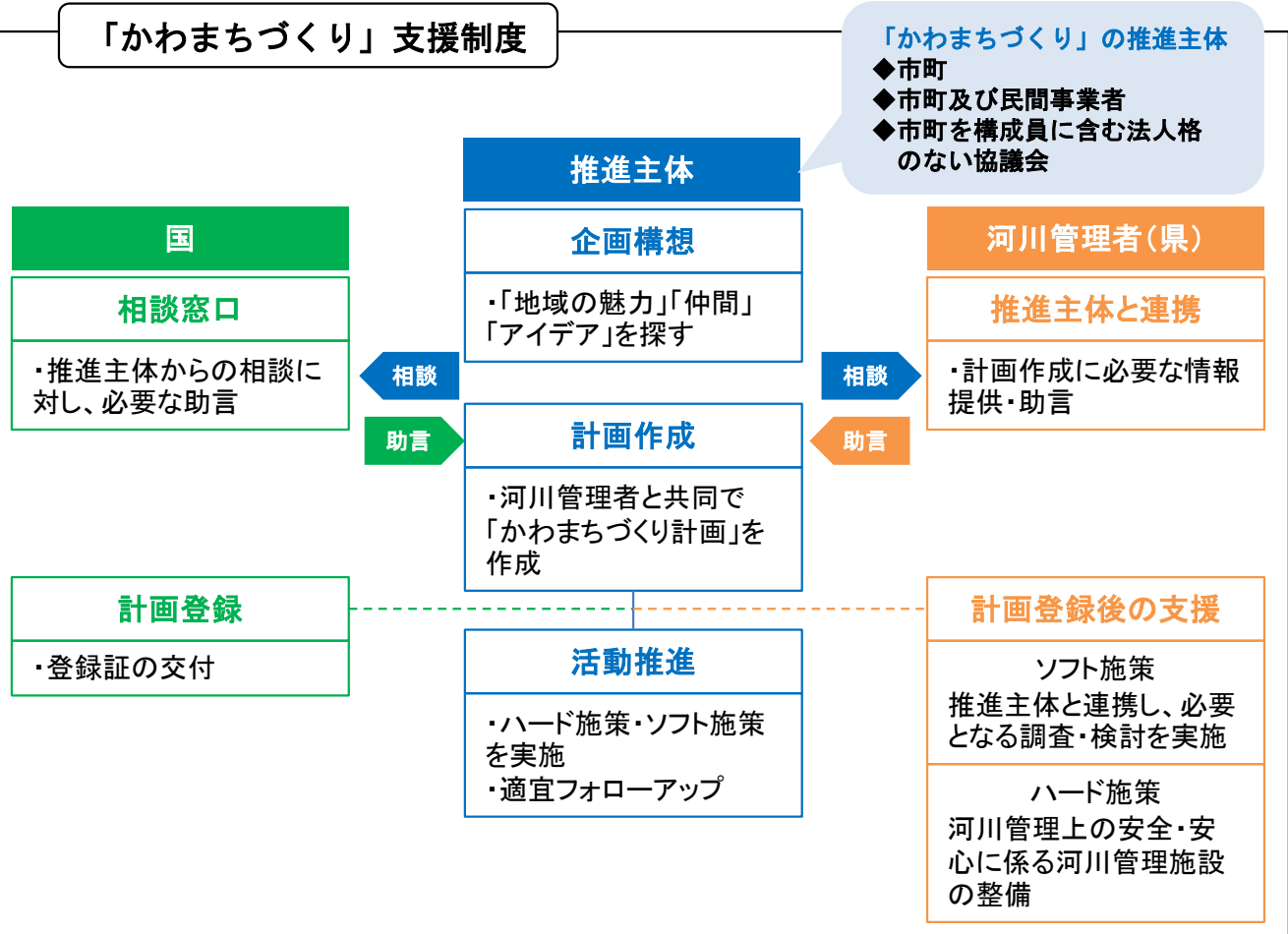
(参考) コスト情報
パターン3を1とした
場合のコスト比較 (基準値)

1

意見交換資料 抜粋③

- 計画策定後、防護と併せて利用・環境に係る多面的な取組により浜名湖の多彩な魅力向上、地域の活性化につなげていくことが重要である。
- 関係機関や地域において、具体的な取り組みがある箇所については事業内容を今回の計画に記載する。
- 本日の意見交換会では、新たな取組につながる地域の意見をお伺いし、「かわまちづくり」への展開を関係者間で協議する。

全国的に活用される枠組み（推進体制）



取組の推進体制事例（諏訪湖）



出典：諏訪湖水辺整備基本計画

「かわまちづくり」支援制度による水辺の整備事例（サイクリングロード）

静岡県伊豆の国市（一級河川狩野川）	
区域名称	川の駅伊豆城山（狩野川神島公園）
概要	河川敷内に自転車オフロードコースを整備する他、川を活かしたアウトドアスポーツや自然体験活動ができる魅力ある水辺空間として、地域の活性化の役割を担う。
河川管理者	国土交通省
合意方法	伊豆の国市狩野川利活用調整協議会

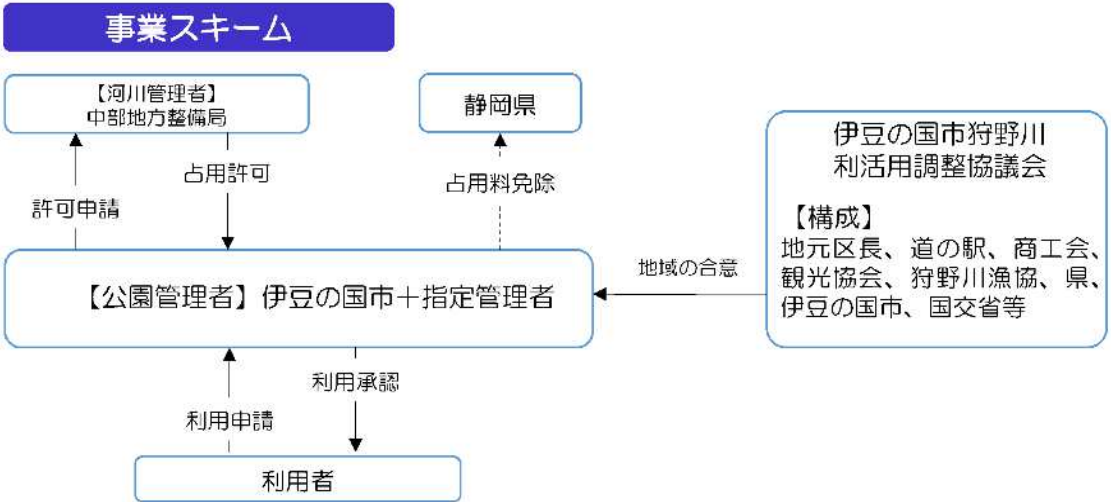
水辺の様子



整備後のイメージ



伊豆の国シクロクロス Supported by 湘南CX

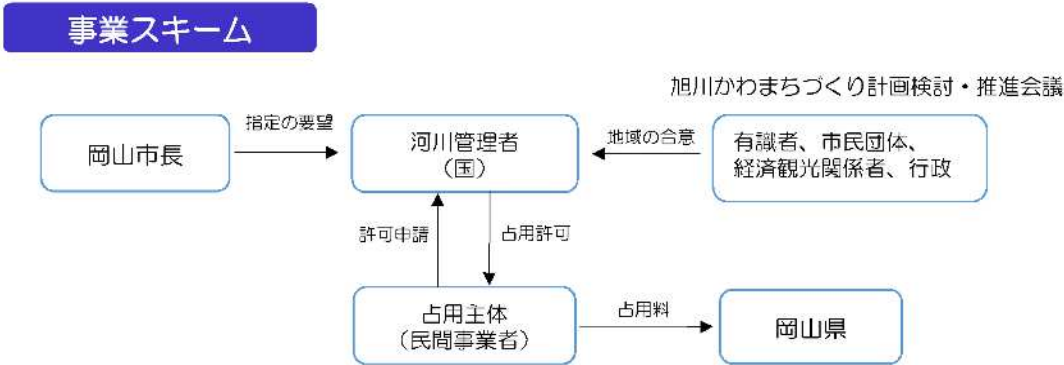


効果と今後の展開

- 伊豆地域での東京オリンピック自転車競技開催を契機としたサイクルツーリズムの推進を引き続き図るとともに、幅広い世代の方がサイクルスポーツを体験できるフィールドとしてオフロードコースを整備

「かわまちづくり」支援制度による水辺の整備事例（舟運）

岡山県岡山市（一級河川旭川）	
区域名称	旭川岡山京橋クルーズ
概要	川から海へとつながる歴史的資源を活用して、岡山と瀬戸内海の新たな魅力創出を図るとともに、京橋地区の活性化を目的とする。また瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて瀬戸内海の島々間を運航することで観光促進につなげるものである。
河川管理者	国土交通省
合意方法	旭川かわまちづくり計画検討・推進会議



「かわまちづくり」支援制度による水辺の整備事例（オープンカフェ）

埼玉県春日部市（一級河川大落古利根川）	
区域名称	大落古利根川河川広場
概要	水辺再生事業で整備した親水テラスを「イベント広場」として活用。 定期的に商店会等がイベント（水辺カフェ、コンサートなど）を開催し、水辺の賑わい空間を創出している。
河川管理者	埼玉県
合意方法	大落古利根川河川広場利用調整協議会

水辺の様子

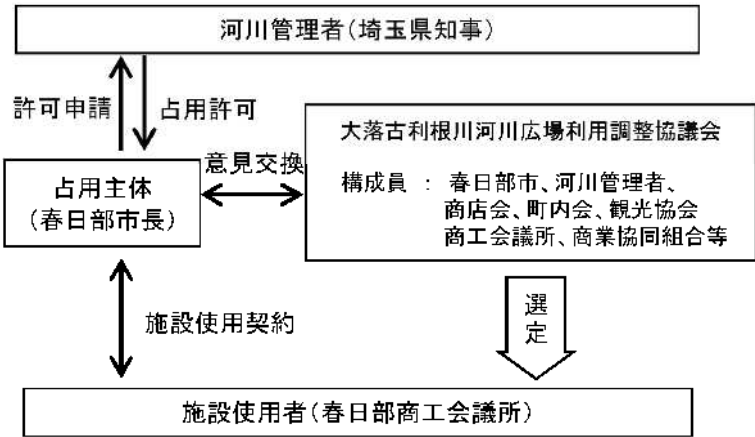
親水テラス 全景



イベントの様子



事業スキーム



頂いた主な意見

【浜松市西地域】

- ・ 浜名湖南側では南海トラフ巨大地震の津波が懸念される。観光が盛んな地区では景観に配慮してもらいたい。
- ・ 浜名湖東側の湖沿いに住宅が貼りついている地区では、どんな高潮が来ても安心できるように安全第一の対応してもらいたい。
- ・ 老朽化した湖岸堤への対応を要望する。
- ・ 近年、住民と浜名湖の距離が離れてきた。サイクリングロードも必要だが、水に触れ合う場も大切だと思っており、安全対策と環境保全のメリハリが大切である。

【浜松市北地域】

- ・ サイクリングロードが所々で切れており、一周回ることができない。サイクリングロードと兼用できる湖岸堤が望ましい。
- ・ 浜名湖の北側は南側と異なり津波などの災害も想定しにくい。
- ・ 眺望が良い場所が多いので、環境や景観を壊さないように配慮してもらいたい。
- ・ 浸水が心配される都田川河口の低平地を除き、今のまま自然の状態のままだ方が良いのではないかな。
- ・ 湖岸付近に駐車場があれば湖岸利用が進むのではないかな。

【湖西市】

- ・ 国道301号などの自転車は車を運転していると危険に感じ、渋滞の要因にもなっている。湖岸沿いにサイクリングロードを整備して車と自転車を分離してもらいたい。
- ・ 湖岸堤の老朽化が進行している。
- ・ 湖岸沿いに芝生公園を整備した箇所では散策する人が増えた。
- ・ 改修する場合は地域ごとの実状を踏まえた構造にしてもらいたい。